



4年生になり、学習内容も少しずつ難しくなっていきます。
社会では、社会の仕組みや自然環境などにも目を向けていきます。

環境学習会

穂谷川清掃工場の方に「ごみとリサイクル」について教えていただきました。
普段、何気なく出しているごみ。ごみとは何なの。ごみを出した後どうなるのかを
教えていただきました。

枚方市で出されるごみは年間約 10万 7000 t あり、25mプールに換算すると
約 1780 面になるそうです。その**ごみ処理するのに約 53 億円もの市税が**
使われているようです。

毎日みんなが 100 g でもごみを減らせば年間 1 万 4600 t (=100 g × 40 万人 × 365 日)
減量するようです。

ということは、10万 7000 t で 53 億円なので、5 億円ほど節約できるかもしれません。



そして、その減らし方も教えていただきました。

それが「**リサイクル (Recycle)**」。

プラスチックやペットボトル、アルミ・スチール缶やガラス瓶などを分別して出すと
新しく違う製品に生まれ変わるということを教えていただきました。

その中で、**ペットボトルとプラスチックは別物**であること。

手作業で分別しているの**で、キャップとラベルを外して、つぶして出すと作業がしやすい**こと。



ほかにも、「リフューズ (Refuse)」レジ袋などをもらわないようにしたり、
「リデュース (Reduce)」食べ残しやごみを出さないようにしたり、
「リユース (Reuse)」使わなくなったものを使いたい人にゆずったりすることも
教えていただきました。

パッカー車体験

穂谷

